

ごみの減量について

豊岡市環境基本計画（平成19年4月策定）では、平成12年度を基準として、平成28年度までに25%のごみ減量目標を掲げていたが、平成20年度で早くも目標数値を上回る31%減量を達成した。

なお、平成20年度のごみ持込総量29,448tは、平成2年度に豊岡清掃センターを開設してから最少の数値である。

1、ごみ減量の取組み経緯

豊岡清掃センター（旧北但清掃センター）を開設した平成2年度以降、清掃センターへ持込まれるごみ量は年々増え続け、平成12年度にピークを迎えた。そこで旧豊岡市では、平成12年度を基準年度として20%のごみ減量に取り組んできた。

新豊岡市もこれを踏襲し、平成19年4月に豊岡市環境基本計画を策定し、平成28年度を達成年度として25%のごみ減量目標を掲げ、ごみの減量に努めてきた。

2、ごみ減量の要因

ごみの減量は、以下の取組みの継続と社会情勢の変化によるものと考えられる。

清掃センターにおける不適正廃棄物持込み検査の徹底（H19.10から実施）

市内の事業所訪問による事業ごみ減量キャンペーンの効果（H17～H18に実施）

ごみ減量の周知啓発による市民意識の向上

住宅建築件数の減少に伴う、解体廃棄物〔木くず〕の減少

建築確認申請数 平成18年度：651件 平成19年度：488件
平成20年度：395件

景気悪化に伴う消費の減少

3．平成12年度以降のごみ量の推移

（単位：t）

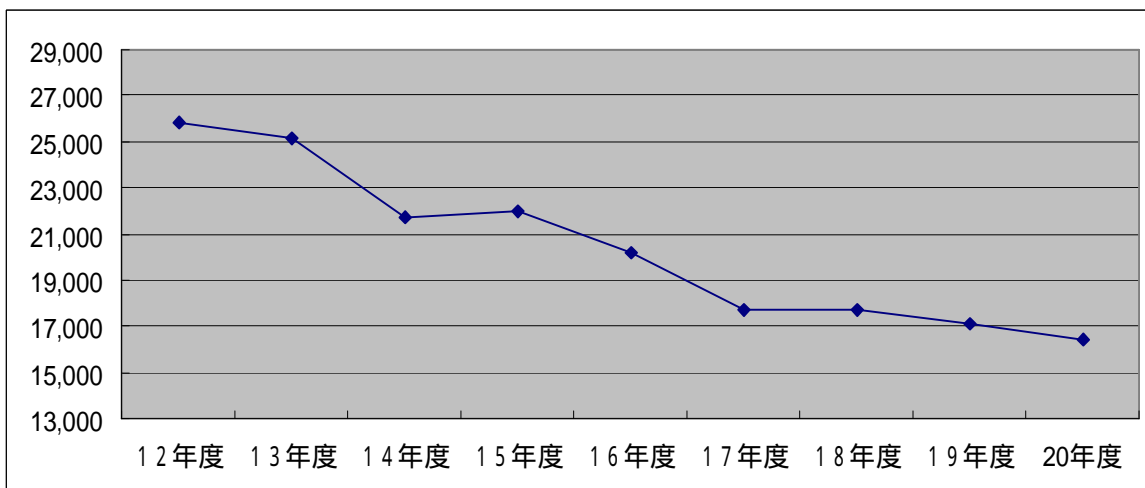
区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
ごみ総量 + =	42,917	40,549	37,091	38,409	37,019	36,886	36,150	32,610	29,448
12年度比	基準年度	94%	86%	89%	86%	86%	84%	76%	69%
生活ごみ	25,874	25,143	21,754	21,984	20,218	17,715	17,691	17,080	16,441
12年度比	基準年度	97%	84%	85%	78%	68%	68%	66%	64%
事業ごみ	17,042	15,406	15,337	16,425	16,801	19,171	18,459	15,530	13,007
木くず (/)	-	-	1,217 (8%)	2,429 (15%)	2,562 (15%)	2,540 (13%)	1,685 (9%)	1,344 (9%)	921 (7%)
12年度比	基準年度	90%	90%	96%	99%	112%	108%	91%	76%

平成16年度並びに17年度（H17.5月間で持ち込みあり）分は、災害廃棄物を除いた量

豊岡清掃センターに持込まれるごみは「生活ごみ」と「事業ごみ」に分類される。

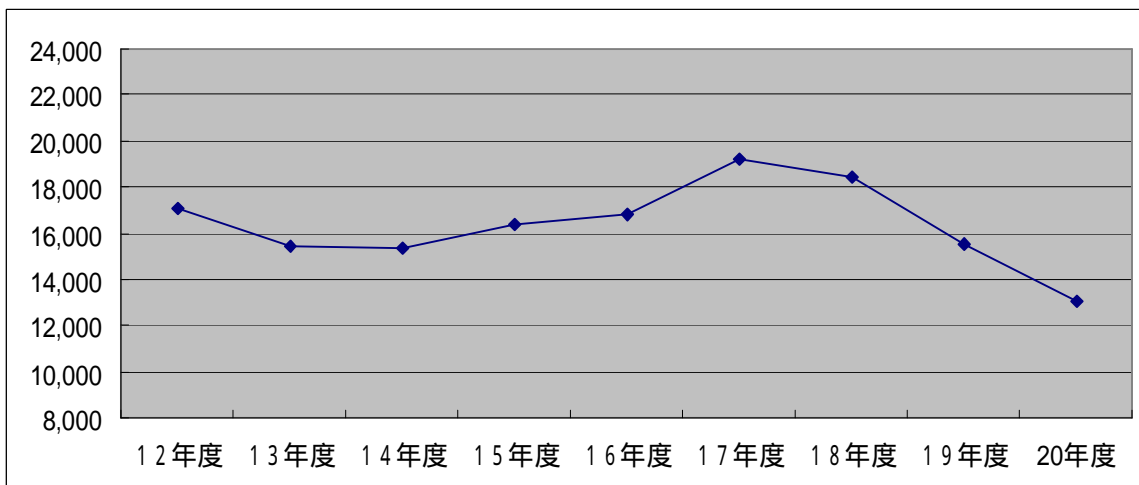
生活ごみ

容器包装類の分別を開始した平成14年度と旧豊岡市で有料化を実施した直後の平成16・17年度に大きく減少している。(各旧町は、平成12年度より前に有料化を実施していた)



事業ごみ

豊岡市周辺に民間の受入施設が少ないことから、豊岡清掃センターに集中しがちであるが、平成19・20年度に大きく減っているのは、平成19年10月から実施した不適正廃棄物の持込検査の強化と建築廃棄物の減少の影響が大きいと考えられる。



4. 今後の取組み

景気の回復によってごみ量もリバウンドする可能性があるが、不適正廃棄物の持込検査の徹底やごみ減量の啓発活動を展開し、引き続きごみの減量化に努める。